

## はじめに

私たちが住む新城市は、美しい自然環境に恵まれ、多くの先人の手によって築きあげられた悠久の歴史や伝統文化があり、そこには、人情味豊かな人々が暮らしています。

今日の少子・高齢化、科学技術の進歩、高度情報化社会の到来により、私たちを取り巻く生活環境が大きく変わってきており、市民一人ひとりが生きがいを感じることでできる生涯学習の果たす役割は増大しています。

こうした中で、新市となって初めての「生涯学習推進計画」を策定しました。

この計画は、人と人のふれあいや、豊かな自然・歴史文化を活かした生涯学習を推進するための指針とするもので、市民一人ひとりが生涯を通して、感動と創造、そして、貢献することの喜びが感じられる環境づくりの実現を目指していくものです。

この計画をより具体的に、また、効果的に推進するためには、行政と市民の皆様が共に考え、実践していくことが必要であると考えます。

皆様の一層のご理解とご協力、そして、この計画へのご参加をお待ちしております。

最後に、この計画の策定にあたり、長い間ご尽力いただきますとともに、貴重なご提言、ご意見をいただきました新城市生涯学習専門委員会の皆様にご心から厚くお礼申し上げます。

平成21年3月

新城市長 穂積亮次

# まえがき

## 青春の街・新城を闊歩<sup>かっぽ</sup>しよう！

里山の街・新城には、すばらしい自然があり、情の厚い人々が住み、歴史文化の華が咲いています。この新城の「自然・人・歴史文化」の三つは、新城ならではの輝きを放っています。これを「新城の三宝」と呼び、広く市民の生涯学習の対象として愛し大切にしていきたい。そして、総面積499平方キロの広大な市域を、「生きる喜び」を楽しめる「新城学びのキャンパス」として、フィールドワークしてみませんか。

心の青春はあかあかと燃え続ける。詩人は言う、「青春とは人生のある期間ではなく心の持ち方である」と。「希望都市」を標榜する新城市の「生涯学習推進計画」は、「生涯青春」「生涯現役」の気概を養うものでありたい。日ごろの市民生活において、元気のわきで生きがい活動を展開したい。そんな願いのもと、生涯学習専門委員会の皆様が熱い議論を重ね、この計画が形づくられてきました。市民手づくりのものであります。

青春を灯し続ける活動を、お隣さんに声かけて、創ってみませんか。新城で生まれ育ち、市民として活動し、やがて土に帰る輪廻の中で、「生きる喜び」を感じて過ごすことができれば幸せです。人が喜びを体感する要素は、「感動」「創造」「貢献」の活動と言われます。地域を歩き、近隣に声かけ、共に活動する地域活動を展開したい。向こう三軒両隣で、縁側や軒先で語り合い、地域行事に参加していく。一步踏み出すことから、喜びが始まります。

青春の日の喜びを子供たちに継承する活動を、今だからこそ、世代が集い、子供たちと連れ立ってやってみませんか。少年の日の思い出。地面と石ころと木切れさえあれば、川と山と原っぱさえあれば、一日中、楽しく遊ぶことができました。ゲームもパソコンもテレビも無かったけれど、あのせせらぎ、あの山あい、あの岩場の、土に親しみ水に親しんだ時間は充実していました。里山の活動をよみがえらせることも、大人の子供たちに対する責任の一つではないでしょうか。

青春の若さを保ち続ける文化・スポーツ活動に関わり続けていきませんか。新城市の高齢化（65歳以上）率は27パーセントですが、心と体の若さは歴年齢ではありません。新城市の文化・スポーツ活動を推進してみえる方々は、皆さん、本当に若々しく、いつも圧倒されています。生涯現役の信念で「生涯学習」「生涯スポーツ」に携わってみえるからだと思います。頭を使うこと、心をくたくこと、体を動かすこと、これこそが青春の若さを保つ秘訣ではないでしょうか。

新城学びのキャンパスで、人・自然・歴史文化の新城の三宝を活かし、感動・創造・貢献の喜びを味わえるよう、互いに手を携えて「生きがい活動」「地域活動」「里山活動」「文化活動」をしていきましょう。生涯青春の街・新城を闊歩して。

平成21年3月

新城市教育委員会教育長 和田守功